

Service News サービス・ニュース

■3階 グリーンゾーン
『ESD 持続可能な未来をつくる本棚』ができました

ESDってなんだろう？
ESDとは Education for Sustainable Development の略で、「持続可能な開発のための教育」と訳されます。2002年にヨハネスブルグサミットにおいて日本が「持続可能な開発のための教育の10年」を提唱しました。ESDが取り上げるテーマは環境、防災、エネルギー、生物多様性、気候変動、国際理解、歴史・文化、人権・平和、貧困など多岐にわたります。「国連ESDの10年」が2005年にスタートしてから今年で10年。11月には愛知県・名古屋市と岡山市で「ESDに関するユネスコ世界会議」が開催されます。

そこで当館では3階グリーンゾーン奥に、関連コーナーを用意しました。持続可能な社会をつくるために、今、何ができるのか、一緒に考えてみませんか。

11月のデータベース講座のご案内

日比谷データベース講座 VOL.5
「Mpacを使った市場規模やマーケットシェアの調べ方」

■11月25日(火) 12:15～13:15 / 18:00～19:00
※講座概要は各回とも同じです。

■場 所: 2階図書フロア カウンター前
■参加費: 無料

事前申し込みは不要、当日は直接会場へお越しください。

日比谷カレッジ報告 9/27 10/4

■秋の文学講演会
名著さんぽ倶楽部(全2回)
第1回「日比谷界隈をそぞろ歩き」
第2回「神保町辺りをステッキ片手に」

■講師: 坂崎重盛(文筆家)

文筆家の坂崎重盛先生をお招きし、2回に渡って日比谷、神保町界隈について語っていただきました。文学や散歩の楽しさから、地域ならではの小さな雑学、古書店での過ごし方まで多岐にわたるお話を伺うことができました。先生はステッキや石版画のコレクターとしても有名で、当日はチェスの駒が入った仕込みステッキを手に参加者に歩いていただく一場面もあり、坂崎ワールド満載の講演となりました。

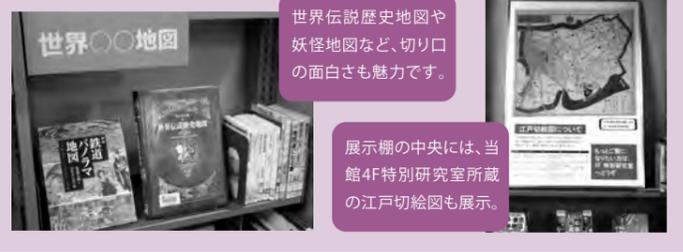
▲ステッキ、ハットは紳士のお洒落道具であり、粋な散歩の必需品!

▲お土産に売られていたという大正時の日比谷公園の様子を描いた石版画(講師 個人所蔵)

2F パープルゾーン
【東京・江戸】の本を集めたゾーン

「古今東西 地図さんぽ」

日本の地図や世界の地図を「地図の歴史」「食べる地図」「文学地図」など5つのテーマに分けて紹介しています。単なる道案内だけにとどまらず、幅広い知識と情報を与えてくれる地図の奥深さ、面白さをぜひ再確認してみてください。秋の夜長に地図を眺めながら、遙か昔やまだ見ぬ場所へ思いを巡らせてみてはいかがでしょうか。



11月の展示情報

- 2F オレンジゾーン 「働き方の可能性～雇用と労働の今、これから～」(～11月中旬)
少子高齢化、女性の社会進出など社会の変化とともに働き方の多様化が進む日本の雇用。働き方の現状と今後の可能性についてさまざまな視点から紹介します。
- 2F ホール 一日比谷カレッジ関連展示—
国際アンデルセン賞作家賞受賞記念 上橋菜穂子 パネル展(～11月中旬)
生誕100周年「ムーミンをつくった芸術家 トーベ・ヤンソン」特集
- 3F グリーンゾーン 「食」 NEW!
食の安全、健康と食、食育、さまざまな食文化、食料自給率など、国内および世界の食に関する話題と情報をご紹介します。気になるレシピ本も!
- 3F ホール 「2020年 東京オリンピック・パラリンピックに向かって」
- 3F ブルーゾーン 「早すぎた芸術家」
“生前は無名”“発表当時物議をかもした”“批判された”など、様々な角度から「早すぎた」芸術家、文学者、音楽家たちに焦点をあてます。

わたしの一冊 『地底旅行』

ジュール・ヴェルヌ 著 石川布美、石川湧 訳

地球の中心という、未知の世界への冒険旅行であるこの作品。地質学や考古学など様々な専門知識が散りばめられています。その知識ひとつひとつに現実味が込められていて、中学生の頃、地底にはこんな空間が本当にあるのではないかとワクワクしながら読んでいました。大人になった今でも十分に楽しめる作品です。

当館スタッフの推薦本を紹介します。おすすめする人 北村 美緒 図書フロア

リーデン教授は16世紀に書かれたルーン文字を発見する。そこから期のアクセルとともに地球内部への旅が始まるのだった。SFの父とも呼ばれるヴェルヌの代表作のひとつ。

千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

「文士」に出会う。日比谷で文士たちに

文士・銀座・文壇バー・ポートレートのジャンルに分けて展示。
作家が「文士」と呼ばれた時代の暮らしぶりが生き生きと蘇ります。
◆展示場所: 2階「三角展示台」

「銀座と文士たち」 武田勝彦/田中康子・著 (明治書院1991年)

「東京近郊ぶらり文学散歩」 山本容朗・著 (文藝春秋1994年)

「文学地図」

文士が暮らした場所、文士が描いた場所案内など、文学散歩や歴史散歩に役立つ本を展示しています。
◆展示場所: 2階 パープルゾーン
「古今東西 地図さんぽ」コーナー

「人物写真」

文士を撮った写真集だけでなく、芸術家、働く人の顔、セルフポートレートなど、時代に向き合う人物写真集を展示。
あなたのお気に入りの写真が必ず見つかります。
◆展示場所: 3階 ホール
※新聞連載小説第一回目の新聞紙面(縮刷版)も展示しています。

「風貌」 土門拳の昭和1「風貌」 土門拳・著(小学館1995年)

林忠彦写真展 日本作家109人の顔

作家が文士と呼ばれていた時代、彼らの肖像を描いた写真家があった。昭和を代表する写真家の一人、林忠彦(1918-1990)が撮った、日本の作家109人の写真展。昭和という、作家が文士であった時代を生きた「顔」を記録した写真107点に加え、もう一つの「顔」といえる代表作や初版本が展示に華を添えます。

好評開催中 11月25日(火)まで 太宰 治

会場: 日比谷図書文化館1階 特別展示室
開室時間: 10:00～20:00 (土曜19:00、日曜・祝日17:00まで、入室は閉室の30分前まで)
休館日: 11月17日(月)
観覧料: 一般300円、大学・高校生200円
※千代田区民・中学生以下、障害者手帳をお持ちの方および付添の方1名は無料

calendar 開館時間: 平日10時～22時 ■ 土曜10時～19時 ■ 日祝10時～17時 ■ 休館日

2014年 11月							2014年 12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1		1	2	3	4	5	6
2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13
9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20
16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27
23	24	25	26	27	28	29	28	29	30	31			
30													

お問合せ先: 千代田区立日比谷図書文化館
〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4 TEL: 施設代表 03-3502-3340
図書総合カウンター 03-3502-3343 URL: http://hibiyal.jp

access 都営地下鉄 ●三田線「内幸町駅」A7出口 徒歩3分 東京メトロ ●丸の内線 ●日比谷線 「霞ヶ関駅」B2出口 徒歩3分 ●千代田線 「霞ヶ関駅」C3出口 徒歩3分 JR「新橋駅」徒歩10分 ※当施設に駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用下さい。

11・12月の講座

〈参加申込〉電話(03-3502-3340)またはEメール(college@hibiyal.jp)にて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。
千代田区民割引のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

11/1 (土) 早すぎた芸術家 宮沢賢治

講師: ロジャー・バルバース(作家)

作家であり、詩人であり、農学者であり、そして宗教的思想家でもあった宮沢賢治。「すべての人の福祉向上」という時代のはるか先をいくビジョンを持ち、21世紀において、長年宮沢賢治について、ロジャー・バルバース氏が新たな視点から語ります。



■日時: 11月1日(土) 14:00~15:30(13:30より受付)
■会場: 4階スタジオプラス(小ホール)
■定員: 60名 ■参加費: 1000円

11/3 (月・祝) 開館3周年記念講演会「人間の不思議」

講師: 村松 友視(作家)

「人間という存在を“不思議”の天使で覗けば、奇妙奇天烈な生き物であることが炙り出されてくる。その“不思議”のホコ先を自分自身、周辺の人々、世の中に存在する人々、老人の神秘とユーモアの溶け合った境地へと向けて、面白みを探ってみよう。」(村松友視) 村松氏ならではの人間探求、その不可思議な世界をご堪能ください。(特別協力: 第16回図書館総合展)



■日時: 11月3日(月) 14:00~15:30(13:30より受付)
■会場: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■定員: 200名
■参加費: 500円(千代田区民無料) ※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

11/4 (火) 特別展「林忠彦写真展—日本の作家109人の顔」関連講演会 鼎談「林忠彦の写真にみる文士たちの生き様」

講師: 坂口 綱男(写真家)

檀 太郎(エッセイスト)
林 義勝(写真家)

戦後の激動の時代を生きた「作家」とは、どういう存在だったのか、林忠彦はそれをどう切り撮っていったのか、また自らにとって「父」がどのような人物であったのかについて、林忠彦、作家の坂口安吾、檀一雄のご子息たちが語り合います。



坂口安吾

■日時: 11月4日(火) 19:00~20:30(18:30より受付)
■会場: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■定員: 200名
■参加費: 1,000円(千代田区民500円)

※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

11/9 (日) 国際アンデルセン賞受賞記念 上橋菜穂子講演会 — 辿ってきた道、そして、いま —

講師: 上橋 菜穂子(作家・文化人類学者)

『精霊の守り人』『獣の奏者』などで、児童書のノーベル賞と称される「国際アンデルセン賞」の作家賞を受賞した上橋菜穂子氏をお迎えし、文化人類学の領域にまで、定員に達した為、受付を終了しました。お話しさせていただきます。



■日時: 11月9日(日) 14:00~16:00(13:30より受付)
■会場: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■定員: 180名
■参加費: 1000円 ※高校生以下無料(中学生は当日学生証をお持ちください)

11/12 (水) HIBIYAイノベーション・キャンパス2014 【初級・体験版】「イノベティブ・マインドセット — 自分の中のクリエイティビティを知る②」

講師: 富田 欣和 (慶應義塾大学大学院SDM研究科特任講師、関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科講師)

麻生 陽平 (慶應義塾大学大学院SDM研究科非常勤講師)

渡辺 今日子 (慶應義塾大学大学院SDM研究科研究員)

新しいことを考える、創出する。本講座は実践で磨かれてきた慶應SDMのメソッドにより、参加者ひとりひとりが潜在的に持っているクリエイティビティに気づき発揮することで、イノベティブなマインドセットを体感するワークショップです。(主催: イノベティブ・デザイン LLC 共催: 慶應義塾大学大学院SDM研究所イノベティブデザインセンター)



■日時: 11月12日(水) 19:00~21:00(18:30より受付)
■会場: 4階スタジオプラス(小ホール) ■定員: 30名 ■参加費: 3000円

11/14 (金) 千代田区民講座 人体の秘密 長寿とガン

講師: 林 勝彦(科学ジャーナリスト、元NHKプロデューサー)

長寿のひととガンにかかる人は遺伝子の何が違うのか? 60兆もの細胞から成る生命の神秘を、NHK歴代の番組で最多の国際賞受賞記録を持つ、NHKスペシャル「人体」のプロデューサーが、1月に開催された講座「脳と心」の続編として、映像を駆使して語ります。(主催: NPO法人 神田雑学大学)

■日時: 11月14日(金) 19:00~20:30(18:30より受付)
■会場: 4階スタジオプラス(小ホール)
■定員: 60名
■参加費: 無料 ※10月20日(月)から千代田区民先行受付開始 区民以外は27日(月)から受付開始。

11/27 (木) 『源氏物語』を味わいつくす(全3回) 第2回「浮舟」という女の造形をめぐる

講師: 林 望(作家・国文学者) ゲスト: 千住 博(日本画家)

『源氏物語』でも独自の世界観を持つ「宇治十帖」。林望氏とともにその魅力を読み解く全3回講座第2回は、『源氏物語』の愛読者である千住博氏をお招きし、「宇治十帖」を彩る三人の姫君をそれぞれの特色について比較しながら、特に際立った魅力を持つ浮舟の造形の卓抜さについて語り合います。(主催: 土廣倫理財団)



千住 博氏 撮影者: 大森直(Sunao Ohmori)

■日時: 11月27日(木) 18:30~20:30(18:00より受付)
■会場: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■定員: 200名 ■参加費: 500円(千代田区民及び学生は無料) ※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるもの、学生の方は学生証をお持ち下さい。

〈第3回予告〉▶12月17日(水) 18:30~20:30

「朗読劇」としての卓抜さを味わう ゲスト: 鶴木 絵里(オペラ歌手)

11/28 (金) リマッピング日比谷プロジェクト 『都市と森の境界に現れるアート』展シンポジウム おとぎ話とアート~森をあとにして

講師: 巖谷 國士(フランス文学者 評論家 明治学院大学名誉教授)
村井 まや子 (おとぎ話・比較文学研究者 神奈川大学教授)
鴻池 朋子(美術家)

ナビゲート: 坂本 里英子(セゾン現代美術館 学芸員)

リマッピング日比谷プロジェクト『都市と森の境界に現れるアート』展のシンポジウムの第2弾。視覚芸術と、口承文芸に起源を持つおとぎ話がどのように現代のアートとつながり、関わってきたのか、アートにおけるおとぎ話の役割を紐解いていきます。(主催: Remapping Hibiya Project)



■日時: 11月28日(金) 18:30~20:30(18:00より受付) ■会場: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■定員: 200名 ■参加費: 500円

11/30 (日) 第28回江戸歴史講座「陶磁の道」展開催記念 「茶の湯、茶陶の伝来と“陶磁の道”」

講師: 竹内 順一(永青文庫館長)

11/29(土)から12/8(月)に開催する「陶磁の道 研究の半世紀—三上次男コレクション陶片展—」を記念した講演会。名物、名碗と呼ばれる品々による唐物や朝鮮茶陶・和物茶碗の美意識の変遷とその伝来についてお話しいたします。講演会後には展覧会の見所についての解説も行います。



千利休所持の尻彫茶入

■日時: 11月30日(日) 14:00~16:00(13:30より受付)
■会場: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■定員: 200名 ■参加費: 1000円(千代田区民500円) ※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

12/12 (金) 世界が求める日本の商空間デザイン — カフェからホテルまで —

講師: 笈川 誠(バンブー・メディア代表/「商店建築」元編集長)

アジアを中心に世界から強く求められている日本のデザイン力。日本のデザインの特徴・強みとは何か、その理由や躍進の背景、日本がおかれている現状と今後の課題について、過去数年の業界の動向や最新の事例から読み解き、お話しいたします。



■日時: 12月12日(金) 19:00~20:30(18:30より受付)
■会場: 4階スタジオプラス(小ホール)
■定員: 60名 ■参加費: 1000円

12/13 (土) 新潮講座スペシャル 梅原猛が解き明かす 親鸞「四つの謎」

講師: 梅原 猛(哲学者)

浄土真宗の開祖・親鸞について、講師の梅原氏は長年4つの疑問を抱えてきたといいます。妻帯の謎、悪人正機説の謎、死を前にしての肉親への拘り、そして晩年に至った「等正覚」の境地……。齢九十を迎える梅原氏がこれまでの定説を覆し、真の親鸞像に迫る気迫の講座です。(主催: (株)新潮社)



■日時: 12月13日(土) 13:30~14:30(13:00より受付)
■会場: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■定員: 200名 ■参加費: 3000円

12/14 (日) ピースビレッジ 第27回 持続可能な食料システムの構築に向けたマルチ・ステーキホルダー・コンソーシアム「サステイナブル・フード・ラボ(SFL)」

講師: 小田 理一郎(有限会社チェンジ・エージェント 代表取締役社長兼CEO)

70億人の食料が十分ありながら8億人が飢え、10億人が肥満にあえいでいます。人口増加等により需要が増える一方、環境問題等、持続不可能な様々な課題を抱えています。SFL(サステイナブル・フード・ラボ)がどのように結成され、うねりを生み出していったかを、リーダーシップ開発や組織開発の観点を交えてご紹介します。(主催: NPO法人世界連邦21世紀フォーラム)



■日時: 12月14日(日) 14:00~16:30(13:30より受付)
■会場: 4階スタジオプラス(小ホール) ■定員: 60名 ■参加費: 3000円

特別研究室企画展示

「近代日本のベンチャー精神 内田嘉吉と明治・大正期の実業家たち」

開催中~12月28日(日)

日本の産業の振興や化学工業の発展に尽力した内田嘉吉は、多くの実業家と接していました。「銀行王」安田善次郎、今年世界遺産に登録された富岡製糸場の生みの親といえる渋沢栄一、現在の明治グループの起源である明治製糖の創立者の一人・相馬半治、浅野セメントをはじめとする浅野財閥を築いた浅野総一郎、かつて「日本一の商社」といわれた鈴木商店の大番頭・金子直吉など内田嘉吉とかかわりのあった実業家たちに関する本を展示し、彼らのベンチャー精神に迫ります。

◆企画展示 関連講座◆

12/2 (火) 古書で紐解く近現代史セミナー 第10回 「日本一の総合商社 鈴木商店の歴史とその後」

講師: 小宮 由次(鈴木商店記念館編集委員)

小林 正幸(株式会社双日総合研究所主任研究員)

明治・大正期、日本一の総合商社となった鈴木商店は、現在日本を代表する数多くの企業の源流となっています。鈴木商店記念館の運営に携わる二人のナビゲーターが鈴木商店の歴史とその後についてお話しします。



合名会社鈴木商店神戸本店 (化学工業博覧会誌編集所編 『化学工業博覧会誌』/化学工業博覧会誌編集所/1918年)

■日時: 12月2日(火) 19:00~20:30(18:30より受付)
■会場: 4階 スタジオプラス(小ホール)
■定員: 60名 ■参加費: 1000円(千代田区民500円)
※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

12/11 (木) 古書で紐解く近現代史セミナー 第11回 「市川徹監督映画&トーク会: 九転十起の男・浅野総一郎」

講師: 市川 徹(タカオカンドリーム社 社長・映画監督)

浅野財閥を築き、京浜工業地帯の生みの親として知られる浅野総一郎を描いた映画「九転十起の男」の監督・市川徹氏を迎えて、浅野総一郎の人生を映画(上映: 約90分)で振り返った後、市川氏が映画にまつわる様々なエピソードをお話しします。(※途中休憩あり)



浅野泰治郎/浅野良三著 『浅野総一郎』 (浅野文庫/1921年)

■日時: 12月11日(木) 18:30~21:00(18:00より受付)
■会場: 地下1階 コンベンションホール(大ホール)
■定員: 200名
■参加費: 1000円(千代田区民500円)
※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

LIBRARY SHOP & CAFE HIBIYA

ライブラリーショップ&カフェHIBIYA・ライブラリーダイニングHIBIYAより

10月14日(火)よりライブラリーショップ&カフェHIBIYA・ライブラリーダイニングHIBIYAの開店時間が変わりました。

■ライブラリーショップ&カフェHIBIYA (1F)
(開店時間が10:00に変更となりました)
●平日 10:00 ~ 19:00
●土・日・祝 10:00 ~ 17:00

■ライブラリーダイニングHIBIYA (B1F)
(開店時間が11:00に変更となりました)
●平日 11:00 ~ 21:30
●土曜 11:00 ~ 19:00
●日・祝 11:00 ~ 17:00

図書フロアの本をお持ち込みいただけます。

コンシェルジュより from Concierge

今秋、日比谷地区ではリマッピング日比谷プロジェクト『都市と森の境界線に現れるアート』展と題して、日比谷公園を中心とした日比谷の街に広がる新たなアートの物語が始まります。各会場にて絵画や映像、アートウォールなど身近にアートを感じていただけます。日比谷図書館ではアーティストによる作品の展示やシンポジウムを行ないます。

■期間: 11月21日(金)~12月7日(日)
■会場: 日比谷公会堂アーカイブカフェ、日比谷図書館、日比谷の街、他